

飛騨市多機能型障がい者支援センター古川いこい開設記念講演会

須田病院 精神科医師

飛騨市地域生活安心支援センターふらっと+顧問医師兼研究員

阪下和美先生

関係者向け
研修講演会



【講師略歴】

総合小児科医、精神科医。米国医師免許、米国総合小児科専門医、公衆衛生学士、産業医を取得。

2004年岐阜大学医学部医学科卒業。高山赤十字病院、沖縄在日米海軍病院、ハワイ大学小児科総合小児科で研修を積み、国立成育医療研究センターに7年間勤務。東京都立松沢病院精神科を経て本年4月から須田病院精神科医師および飛騨市で非常勤特別職として「地域生活安心支援センターふらっと+顧問医師兼研究員」を委嘱。

臨床診療に加え、複数の厚生労働省研究事業を通じて小児予防医療や母子保健に携わる。

主な著書として、「正常で終わらせない。子どものヘルス・スーパービジョン」（東京医学社）、「コミュニティ小児化学～診察室を出て地域と育む子どもの未来～」(4名共著)（日本評論社）

【日時】 令和5年6月28日(水)

19:00 - 20:15 (開場 18:30)

【会場】 飛騨市多機能型障がい者支援センター古川いこい

2階 集会室 (飛騨市古川町下気多 990 番地)

演題 「ライフサイクルを見据えた社会的処方」

今回開設する古川いこいは、市の中核的な多機能型の地域生活支援拠点として障がいや生きづらさを抱える方々の親亡き後、重度化、もしものときを見据え、かつ、予防的視点も持って地域で安心して健康で暮らしていくために備えをしながら必要な支援を行う拠点です。今回の施設開所を契機にこうした地域の支援関係者に向け、乳幼児期から成人期まで住民が生涯健康で暮らせるようその社会づくりに取り組まれている阪下和美先生よりご講演いただきます。